

4 製造品出荷額等

- * 製造品出荷額等は7兆8518億円
- * 産業別では、「輸送用機械」が1兆4734億円（構成比18.8%）で最も多い
- * 地域別では、府中市が8354億円（構成比10.6%）で最も多い

(1) 産業別の状況

産業中分類別にみると、「輸送用機械」が1兆4734億円（構成比18.8%）で最も多く、次いで「印刷・同関連業」が1兆141億円（同12.9%）、「情報通信機械」が8330億円（同10.6%）となっている。

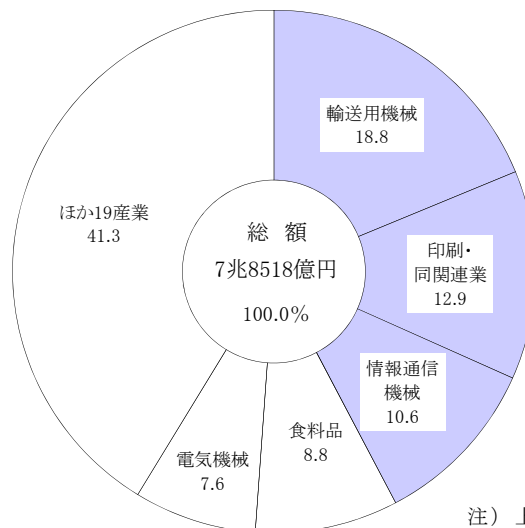
前年と比較すると、17産業が減少し、7産業が増加している。

前年と比較して減少した産業のうち減少額が最も多いのは、「生産用機械」の755億円（ Δ 19.2%）、次いで「電子・デバイス」の726億円（ Δ 21.4%）、「印刷・同関連業」の698億円（ Δ 6.4%）となっている。

前年と比較して増加した産業のうち増加額が最も多いのは、「情報通信機械」の530億円（6.8%）、次いで「化学工業」の155億円（4.2%）、「電気機械」の80億円（1.4%）となっている。

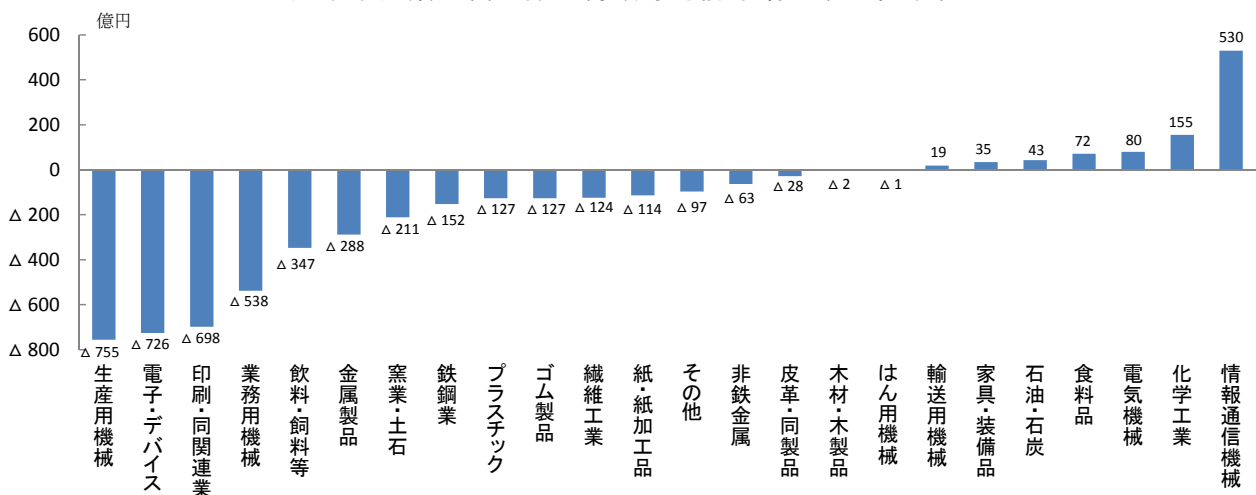
（図20、図21、付表1）

図20 産業中分類別製造品出荷額等構成比（従業者4人以上）



注) 上位3産業に網掛けをしている。

図21 産業中分類別製造品出荷額等対前年増減数（従業者4人以上）



(2) 従業者規模別の状況

従業者規模別にみると、「1000人以上」が2兆7299億円（構成比34.8%）で最も多く、次いで「50～99人」が8239億円（同10.5%）、「100～199人」が6867億円（同8.7%）となっている。

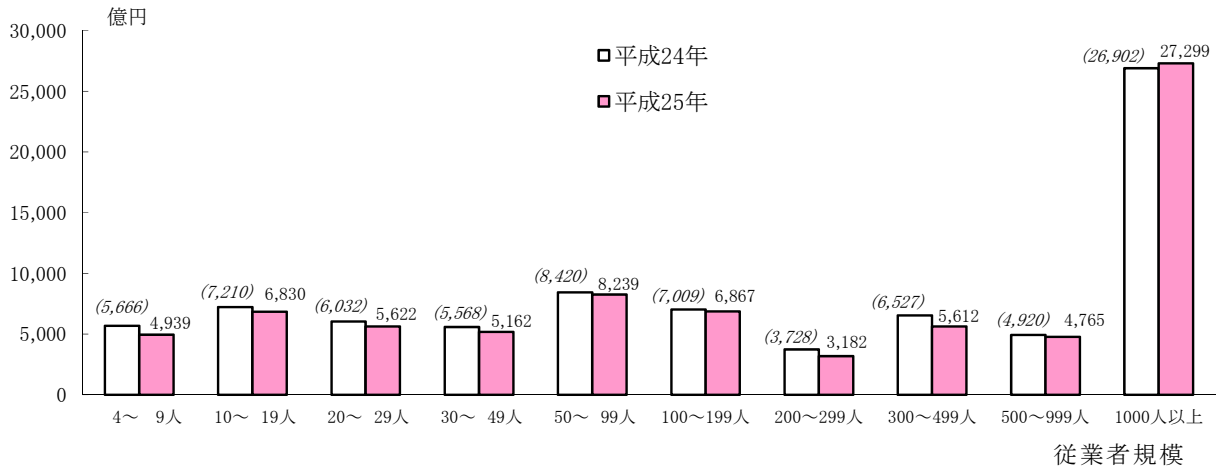
前年と比較すると、9区分が減少し、1区分が増加している。

前年と比較して減少した区分のうち減少額が最も多いのは、「300～499人」の914億円（△14.0%）、次いで「4～9人」の727億円（△12.8%）、「200～299人」の546億円（△14.6%）となっている。

前年と比較して増加したのは、「1000人以上」の397億円（1.5%）となっている。

（図22、付表2）

図22 従業者規模別製造品出荷額等（従業者4人以上）



(3) 地域別の状況

地域別にみると、区部が3兆2032億円（構成比40.8%）、市部が4兆2264億円（同53.8%）となっている。

区市町村別にみると、区部では、大田区が4262億円（同5.4%）で最も多く、次いで板橋区が3583億円（同4.6%）、墨田区が2784億円（同3.5%）となっている。

市部では府中市が8354億円（同10.6%）で最も多く、次いで日野市が7041億円（同9.0%）、羽村市が6711億円（同8.5%）となっている。

（図23、付表3）

図23 区市町村別製造品出荷額等構成比（従業者4人以上）

